平成27年度第3回函館市生活交通協議会会議録			
開催日時	平成 27 年 12 月 24 日 (木) 10 時 00 分~11 時 30 分		
開催場所	函館市企業局4階 大会議室		
議題	(1) 正副会長および監事の選任について (2)「函館市地域公共交通網形成計画」の策定について (3) 函館市地域公共交通再編調査事業について (4) 地域公共交通確保維持改善事業事業評価について (5) その他		
出席者	協議会委員 木村委員, 奥平委員, 森委員, 工藤(利)委員, 横田委員, 滝野澤委員, 武下委員, 佐々木(香)委員, 富樫委員, 中山委員, 谷内委員, 青柳委員, 工藤(太)委員, 桜井委員, 縁莚委員, 上野畑山委員(函館開発建設部道路計画課道路調査官 坂本氏 代理出席), 塚原委員(道南いさりび鉄道株式会社 総務課総務企画係主任 中村氏 種田委員, 田畑委員, 内藤委員	代理	
	ワーキンググループ委員 金岩委員,廣瀬委員,中村委員 平成27年度委託事業受託者 株式会社ドーコン 工藤主任技師,宮谷内主幹		3名)
	随行者 函館バス株式会社 内沢バス事業部長 函館市都市建設部都市計画課 神課長,竹林主査 報道関係 北海道新聞社,函館新聞社,朝日新聞社 傍聴者	(計 (計 (計	3名) 3社) 1名)
欠席者	協議会委員 大橋委員,鈴木委員,矢吹委員,宿村委員,山田委員,齋藤委員 ワーキンググループ委員 佐々木(崇)委員	(計 (計	6名)
事務局の 出席者の 職 氏 名	企画部計画推進室長 田畑 聡文 企画部計画推進室政策推進課主査 江良 規生 企画部計画推進室政策推進課主事 鶴喰 理沙		

1 開 会 【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:鶴喰主事】

- ○委員改選による委員の変更
 - · 富樫 絹子 委員 (函館市女性会議副会長) (前 藤田 美智子 委員 (函館市女性会議会計))
 - · 鈴木 康治 委員 (北海道運輸局鉄道部計画課長)
 - 内藤 敏男 委員 (函館市都市建設部長)
 - · 縁筵 勇二 委員 (一般公募)
 - ·上野山 隆一 委員 (一般公募)

2 議 題

(1) 正副会長および監事の選任について

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主查】

(当日配付資料「函館市生活交通協議会設置要綱」に基づき説明)

- ・ 本協議会は、設置要綱第5条第1項の規定により、会長および副会長を各 1名,監事を2名置くこととなっており、同条第2項の規定により、会長は、 委員の互選により定め、副会長は、会長が指名することとされている。また、 同条第5項の規定では監事は、委員の互選により定めるとされている。
- まずは、会長の選任についていかがか。

【工藤(利)委員】

事務局に一任。

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主査】

・ 事務局に一任との声をいただいたので、事務局としては、12月18日に開催したワーキンググループ会議より座長を務めていただいている奥平委員に会長をお願いしたいがいかがか。

<一同了承>

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主查】

奥平委員、承諾いただけるか。

< 奥平委員承諾>

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主査】

・ それでは、今後の進行については、奥平会長にお願いしたい。よろしくお 願い申し上げる。

【奥平会長】

・ それでは , 副会長の選任についてだが, 9月まで副会長を務めていただい ていた種田委員に引き続きお願いしたい。

<種田委員承諾>

【奥平会長】

・ 次に監事の選任について、委員の互選によるということだが、皆様いかが か。

【工藤(利)委員】

・ 会長に一任。

【奥平会長】

・ 会長に一任との声をいただいたので、私としては、まず、9月まで監事を 務めていただいていた谷内委員にお願いしたいが、皆様いかがか。

<一同了承>

【奥平会長】

・ では、谷内委員、承諾いただけるか。

<谷内委員承諾>

【奥平会長】

・ また,もう1名の監事については,大橋委員にお願いしたいが,本日欠席 のため,この場合について事務局いかがか。

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主査】

• 事務局としては、事前に大橋委員へ監事就任の依頼が来るかもしれないと 伝えしており、そのことについては、大橋委員より了承をいただいている。

【奥平会長】

それでは、もう1名の監事は大橋委員にお願いしたいが、皆様いかがか。

<一同了承>

(2)「函館市地域公共網形成計画」の策定について

【奥平会長】

・ それでは、議題(2)「函館市地域公共交通網形成計画の策定について」を、 資料に基づき、事務局から説明をお願いしたい。

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主查】

(資料1「函館市地域公共交通網形成計画の策定について」に基づき説明)

【奥平会長】

・ ただいまの事務局からの説明に対し、質問や意見等はないか。

<意見なし>

(3) 函館市地域公共交通再編調査事業について

【奥平会長】

・ 次に、議題(3)「函館市地域公共交通再編調査事業について」を、まず、 資料2および3に基づき、事務局および株式会社ドーコンから説明をお願い したい。

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主查】

(資料2「バス路線網再編に向けたこれまでの取り組みについて」に基づき説明)

【株式会社ドーコン交通部:工藤主任技師】

(資料3「地域公共交通再編に関する調査について」に基づき説明)

【奥平会長】

・ ただいまの事務局および株式会社ドーコンからの説明に対し、質問はない か。

<意見なし>

【奥平会長】

次に、資料4に基づき、株式会社ドーコンから説明をお願いしたい。

【株式会社ドーコン交通部:工藤主任技師】

(資料4「交通拠点整備に関する調査について」に基づき説明)

【奥平会長】

・ ただいまの株式会社ドーコンからの説明に対し、質問はないか。

<意見なし>

【奥平会長】

・ それでは、改めて資料2から4までの説明に対し、意見や質問等はないか。

【縁莚委員】

・ 昨日会議資料を拝見し、おおまかに内容を理解できた。今後さらに勉強させていただきたい。

【上野山委員】

- ・ 交通拠点の整備に向けては、既存施設等の利用が大変な状況であると理解 している。
- ・ 公共交通網の再編については、おおまかな進め方を理解できた。
- ・ 街の細かい人口状況や年齢別分布なども今後必要になると思うが、今の状況を理解するには十分な説明をいただいた。
- 今後も引き続き勉強させていただきたい。

【富樫委員】

- ・ 大変詳しい資料をいただき、事前に事務局からの説明も受け、この調査に ついてはよくわかった。
- ・ 日頃から、幼稚園バスや病院が運行しているバスが多いと感じている。特に病院が運行しているバスは、バスの乗り降りを補助してくれたり、自宅近くまで送迎してくれると聞いている。これらが公共交通にどの様な影響を与えているのか考えさせられた。
- ・ 高齢者へは、料金助成も実施されているが、ボランティアで活動する人に とっては、今の料金助成では足りない部分もある。料金の高さは利用者の減 少にもつながるのではないかと考えている。
- ・ 今後は、今回の調査のほか、交通弱者についての詳細な調査を実施し、より良いものにしていただきたい。

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主査】

・ 幼稚園バスや病院が運行しているバスの話については、こうしたバスが多いので、その利用者を公共交通で取り込もうとするよりも分けた考えた方が良いという趣旨だと理解した。今後、バス路線網の再編に向け、さらに検討を進めていくことになるので、皆様の意見を聞きながら検討してまいりたい。

【縁莚委員】

- ・ 私は過去に交通事故に遭い、障がい者となった。
- 自分が実際に直面している事態を考えると、障がい者を含む交通弱者としての立場から、公共交通をどの様にすると便利なのか考えたいと思い、今回の委員募集に応募した。

【奥平会長】

・ 障がい者への対応についても、今後、本協議会も含め検討していく必要が あると考えている。

【上野山委員】

- ・ 乗換えを少なくし、サービス面での負担を軽減すると説明があったが、東京などの大都会では乗換えが普通に行われている。
- ・ 現在のバス路線は、乗ると目的地まで行けるので、便利な人にとっては便利であるが、不便な点もあり、極端な状況である。
- ・ 幹線と支線という再編案が示され、乗継ぎに対する負担もあるが、細かい ところまでバスに乗車できるので、良いものではないかと感じている。

【奥平会長】

それでは、この件については、引き続き調査を行っていくこととする。

(4)地域公共交通確保維持改善事業事業評価について

【奥平会長】

・ 次に、議題(4)「地域公共交通確保維持改善事業事業評価について」を、 資料に基づき、事務局から説明をお願いしたい。

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:江良主査】

(資料5「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)」 に基づき説明)

【奥平会長】

・ ただいまの事務局からの説明に対し、質問や意見等はないか。

<意見なし>

【奥平会長】

・ それでは、今回の評価を国へ提出するということでよいか。

<一同了承>

(5) その他

【奥平会長】

次に、議題(5) その他について、何かあるか。

【中村委員】

- ICカードの導入に向けた最近の動きについて報告する。
- ・ I Cカードの導入については、地域公共交通網形成計画で実施施策の一つ として掲載している
- ・ ゾーンバスシステムの導入に伴い、乗継ぎが発生するため、乗継ぎ利便性 の向上を目的に. 市電と路線バスへの I Cカード導入を検討している。
- ・ 北海道新幹線開業により函館に来る観光客はすでに I Cカードを持っている人が多く,これらの方が函館でも I Cカードを使用できるようになり,市民だけでなく観光客の利便性向上も期待できる。
- ・ 来年1月に市企業局と函館バス株式会社が共同でプロポーザルを実施し、 3月には受託事業者を決定し、平成29年3月に運用開始を開始する予定で ある。
- IC定期券は平成30年度末に運用開始予定である。

【奥平会長】

・ I Cカードの導入については、懸案事項のひとつであった。 I Cカードの 導入により、利便性向上が図られるのではないかと考えている。

【縁莚委員】

・ 全国的に使用可能な I Cカードシステムを導入するのであれば、我々が使用しているカードが格上げされることになるのか。

【中村委員】

・ 全国で使用できるICカードが10種類あり、このカードを持っている方 が、函館でも同じカードを使えることを基本にしたいと考えている。

【富樫委員】

・ 過去の話であるが、路線バスは4月と10月にダイヤが改正されており、 冬期も10月のダイヤのままであった。冬期は雪が多く、バスが遅れてしま う。15分遅れでバスが来たこともあり、やむなくタクシーで目的地まで行 った経験がある。そこで函館バス株式会社に4月と冬期で時刻表が同じなの はいかがかと問い合わせたことがある。また、運転手によって対応に差があ ることでも問い合わせことがある。

- ・ 最近はそれらが非常に改善され、ダイヤ改正も11月に行われており、市 民の声が届いた結果だと考えている。
- ・ ノンステップバスが増えたように感じる。入り口は低床だが、後部座席に 座るために段差を上る必要があり、危険な状況であるので、解消に向け検討 していただきたい。
- ・ バスから降りる際,縁石の上に立たなくてはいけないことがあり,交通弱者には危険である。
- ・ バスロケーションシステムが無い停留所もある。金沢市では各停留所にバスロケーションシステムを設置していた。
- ・ 市電は函館駅前等の停留所が改修され、乗りやすくなった。

【金岩委員】

- ・ 全車両のうち、約6割がノンステップバスとなっている。道内44事業者 の中で最も高い導入率である。
- ・ ノンステップバスの車内に段差があるというご指摘は、他の市民からもいただいている。現在、国の標準認定を受けたノンステップバスを購入することとなっており、車内の改装がしにくいという点がある。事業者からディーラーなどへは、利用者の要望があることを伝えている。
- ・ 携帯電話でバスの時間がわかるバスロケーションシステムを導入している。 携帯電話を使うため、難しい点もあると思うが、周知を図り、利用者の不満 を少しでも解消したいと考えている。
- 今後も皆様の意見を踏まえながら、少しずつ改善してまいりたい。

【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:鶴喰主事】

・ 次回の協議会は、2月中旬の開催を予定している。

【奥平会長】

- ・ 他になければ、これで予定した議事をすべて終了したので、進行を事務局 にお渡しする。
- 3 閉 会 【事務局/函館市企画部計画推進室政策推進課:鶴喰主事】